

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 荒木 剛	職名 教授	学位 博士 (保健福祉学)
---------	-------	---------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
高齢者福祉、ソーシャルワーク、実習教育 (社会福祉士養成課程)	地域包括支援センター、地域を基盤としたソーシャルワーク、ソーシャルワーク実習

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉領域におけるソーシャルワーク実践のあり方 ・ 社会福祉士養成課程における実習教育のあり方

担 当 授 業 科 目
福祉入門 (1 年前期)、基礎実習 (1 年通年)、高齢者福祉 (2 年前期)、ソーシャルワーク実習指導 I (2 年通年)、ソーシャルワーク実習 I (2 年後期)、ソーシャルワーク演習 (専門) I (2 年前期)、ソーシャルワーク演習 (専門) II (2 年後期)、高齢者支援学 I (2 年前期)、現代社会と福祉 (3 年通年)、相談援助実習指導 II (3 年通年)、相談援助実習 (3 年通年)、相談援助演習 IV (3 年前期)、相談援助演習 V (3 年後期)、専門研究 I (3 年通年)、専門研究 II (4 年通年) 【不開講科目】高齢者支援学 II (4 年前期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【福祉入門】 本科目は、福祉基礎科目に位置づけられ、学生の社会福祉への動機や関心を高めることを目的としている。講義では、初学者である 1 年生が福祉課題の現状を理解するとともに、対人援助職の魅力とやりがいを実感できるよう統計資料や DVD を活用するなどの工夫を行った。また、授業運営のマネジメントを担い、教授内容の検討や外部講師との日程調整を行った。
授業科目名【基礎実習】 本科目は、福祉基礎科目に位置づけられ、学生が対人援助のフィールドで体験型学習を行うものである。講義は学生を 3 グループに分け、担当制により実施した。実習前には、対人援助職への理解や実習への動機が高まるよう個別指導を実施した。また、自己学習により実習先や利用者特性について理解を深めさせ、実習への準備性を高めた。実習後には、個別面接や実習報告会により、実習体験から得た学びや気づきの振り返りを行った。
授業科目名【高齢者福祉】 本科目は、社会福祉士養成課程の 2021 年度新カリキュラムによるものである。講義では、教科書を中心としたレジュメを作成し、学生の内容理解を助けた。また、適宜、新聞記事や DVD 等を活用し、最新情報の提供を行った。講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。
授業科目名【ソーシャルワーク実習指導 I】 本科目は、社会福祉士養成課程の 2021 年度新カリキュラムによるものであり、ソーシャルワーク実習 I の事前・事後指導を主な内容としている (高齢者福祉と地域福祉領域を担当)。実習前指導では、自己学習やグループ学習、DVD 等の視覚教材により、実習先で必要となる知識・技術の習得と動機づけに努めた。実習後指導では、個別面談や自己評価を通して、実習体験の学び・気づきを深めさせた。なお、昨年度同様に、新型コロナウイルスの影響で実習時期にばらつきが出たため、各人の進捗に合わせた指導を行った。

<p>授業科目名【ソーシャルワーク実習Ⅰ】</p> <p>本科目は、社会福祉士養成課程の2021年度新カリキュラムによるものであり、福祉施設・事業所において学外実習（60時間）を行うものである（高齢者福祉と地域福祉領域を担当）。実習を実施するにあたっては、実習先との日程調整やプログラム内容の確認を行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、昨年度同様に、新型コロナウイルスの影響で実習時期にばらつきが出たため、各人の状況を踏まえた対応を行った。</p>
<p>授業科目名【ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ】</p> <p>本科目は、社会福祉士養成課程の2021年度新カリキュラムによるものである。講義では、ソーシャルワーカーとしての基本的視点、姿勢、支援過程などについて教授した。また、事例を用いてケアマネジメントの手法や権利擁護のアプローチを理解し、実践的に習得できるよう工夫した。</p> <p>※ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱは、ローテーション（4グループ）による授業展開となるため教授内容・方法は同じ。</p>
<p>授業科目名【高齢者支援学Ⅰ】</p> <p>本科目は、保健福祉学部3学科による合同講義である。内容は、アクティブ高齢者への支援について、講義（3回）とPBL（5回）を通して検討するものである。講義では、介護保険制度について教授したが、他学科の学生も理解しやすいよう説明内容や方法、配布資料を工夫した。また、PBLにおいては、3学科の学生が多職種連携の視点から議論を深められるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【現代社会と福祉】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。社会福祉の原理と政策を主な内容としており、学生にとってはやや難易度が高い科目と思われる。したがって講義では、学生の内容理解を助けるため、教科書を中心としたレジュメを作成した。また、実習体験とリンクさせた説明を行うなどの工夫も行った。毎回の講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅱ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、相談援助実習の事前・事後指導を主な内容としている（高齢者福祉と地域福祉領域を担当）。実習前指導では、自己学習やグループ学習、DVD等の視覚教材により、必要な知識・技術の習得に努めた。また、実習計画書、個人紹介票、誓約書などの作成指導を通して、動機づけを行った。実習後指導では、個別面談、自己評価、実習報告会の実施により、実習体験の学び・気づきを深めさせた。なお、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響で実習時期にばらつきが出たため、各人の状況に応じた指導を行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、福祉施設・事業所において学外実習（180時間）を行うものである（高齢者福祉と地域福祉領域を担当）。実習を実施するにあたっては、実習先との日程調整やプログラム内容の確認を行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響で実習時期にばらつきが出たため、各人の状況を踏まえた対応を行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅳ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、要支援高齢者の事例を用いてケアマネジメントの手法や権利擁護のアプローチを教授した。また、実習後の講義では各人の実習体験の共有を行うとともに、ソーシャルワークの視点から体験を一般化し、知識・技術を習得できるよう指導した。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅴ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、地域福祉の基盤整備に関わる実践について教授するものである。講義では、調べ学習、グループ学習、事例検討などを積極的に用いて、地域づくりへの動機づけとその際に活用される知識・技術の習得に努めた。また、実習後の講義では各人の実習体験の共有を行うとともに、ソーシャルワークの視点から体験を一般化し、知識・技術を習得できるよう指導した。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>本科目では、ゼミ全体で研究テーマを設定した後、各人が個別の課題について自己学習し、報告を行った。学生指導においては、できる限り各人が研究への関心を深め、意欲的に取り組めるよう努めた。</p>

授業科目名【専門研究Ⅱ】

本科目では、各人が研究テーマ・課題を設定し、レポート作成に取り組んだ。学生指導においては、コミュニケーションを密に図り、進捗状況に応じた個別指導を心がけた。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉士会		1998年4月～現在に至る
日本社会福祉学会		2002年3月～現在に至る
日本地域福祉学会		2007年3月～現在に至る
日本介護福祉学会		2007年3月～現在に至る
日本ケアマネジメント学会		2008年1月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) コメディカルのための 社会福祉概論 第5版	共	2023年2月	講談社	① コメディカルを目指す人に対して、社会福祉の制度や支援方法等について基礎から解説したテキスト。 ②編者：鬼崎信好、本郷秀和 共著者：今村浩司、片岡靖子、島崎剛、永田千鶴、畑香理、古野みはる、松岡佐智、村山浩一郎、渡辺暁 ③担当部分：第13章 社会福祉を担う人々 (P191～P199)
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
ソーシャルワーク実習プログラムの開発	附属保健福祉学研究所	○荒木剛、岡田和敏、通山久仁子、文屋典子、中川美幸、山本佳代子、江藤くるみ	150,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市社会福祉協議会（権利擁護・市民後見センター運用委員会）	委員	2009年4月～現在に至る
北九州市社会福祉協議会（総合企画委員会）	委員	2018年4月～現在に至る
社会福祉法人兼恵園（評議員会）	評議員	2017年4月～現在に至る
社会福祉法人北九州市福祉事業団（評議員会）	評議員	2021年6月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

教務委員（2019年4月～現在に至る）
入試会議（2021年4月～現在に至る）
地域連携室室長（2021年4月～現在に至る）